



# 民間企業の発意が産み出す 屋上緑化の多様な価値

NPO法人 屋上開発研究会

NPO法人屋上開発研究会は、過密化した都市に残された貴重な未利用空間であるビル、住宅などの各種建築物の屋上空間を有効に活用することで、建築物の付加価値向上、都市景観の向上、地球環境の改善などを図ることを目的としています。具体的には「都市の屋上をアーバンオアシスに！」を合言葉に、屋上開発のソフト・ハードについて、屋上緑化を中核に新しい市場と発想の開拓を目指してきました。NPOの中立的立場から産官学各界のご支援のもとに、最新情報を入手し、



建物外皮の階層ごとの緑化。テラスレストランの緑の縁取りが建物の表情をソフトに彩り集客を競う。

## 新宿伊勢丹



まるで庭園のように安心、安全な百貨店屋上。休息の後は（シャワー効果で）お買物！都心の新しいデートスポットでもある。

## なんばパークス

## 六本木ヒルズ



高層垂直緑化都市の創出で人々に潤いをもたらす。屋上水田やビオトープの先進的な導入で住人に季節感を提供しイベントや環境教育の場となる。

## 田島ルーフィング社



工場の屋上全体を大規模に薄層緑化し、地域の微気象環境保全にも寄与。工場立地法の適用による工場増設が動機。

分野を先導する提案、提言による先端的な調査研究や技術開発の受託、さらには新しい付加価値開発に取り組みんでいます。また、普及啓発活動として、スカイフロントコーデイネーター資格認定試験や学生にフレッシュな提案を求める屋上活用コンペ、研究会で蓄積した多彩な成果を旬のテーマとしてスカイフロントフォーラムや各地の屋上・壁面緑化展示会を展開しています。今、都市開発のありようが変わりつつあります。美観や憩い、癒しの場としての緑だけでなく、生態系保全や環境保全のための緑であり、また資産価値としての緑が社会的に認知されてきました。このような中、緑による建物資産、不動産の付加価値化と、環境面での社会貢献の一手段として企業のCSRに役立つという評価を得、建設や開発の

マクロな事業収支に寄与するものであるとの認識で、民間企業はさまざまな緑の創出に積極的に努めています。私どもNPOは時代を画するこれら民間企業のプロジェクトの実現化に最大限の技術支援や協力をしていくとともに、官界学界の制度的・学際的裏付けを獲得していきたいと思えます。

建物の屋上や壁面部分は人間の体に例えると皮膚にあたります。かつて地表面を覆っていた土や緑で建物の外皮として覆い、手入れを施すことで健全なまちの再生に役立つのではないかと考えています。

緑の創出は建物の用途の違いや、開発者・ビルオーナーの発意により多岐にわたって展開し、新しい価値を産み出しています。今後は、建物外皮として産み出した緑を手入れ（維持管理運営）していくに担保していくかが、重要で

しかも喫緊の課題であり、私ども研究会の頑張りどころでもあると考えています。

屋上開発研究会

<http://www.sky-front.or.jp/>